

社会資本総合整備計画

防災・安全交付金

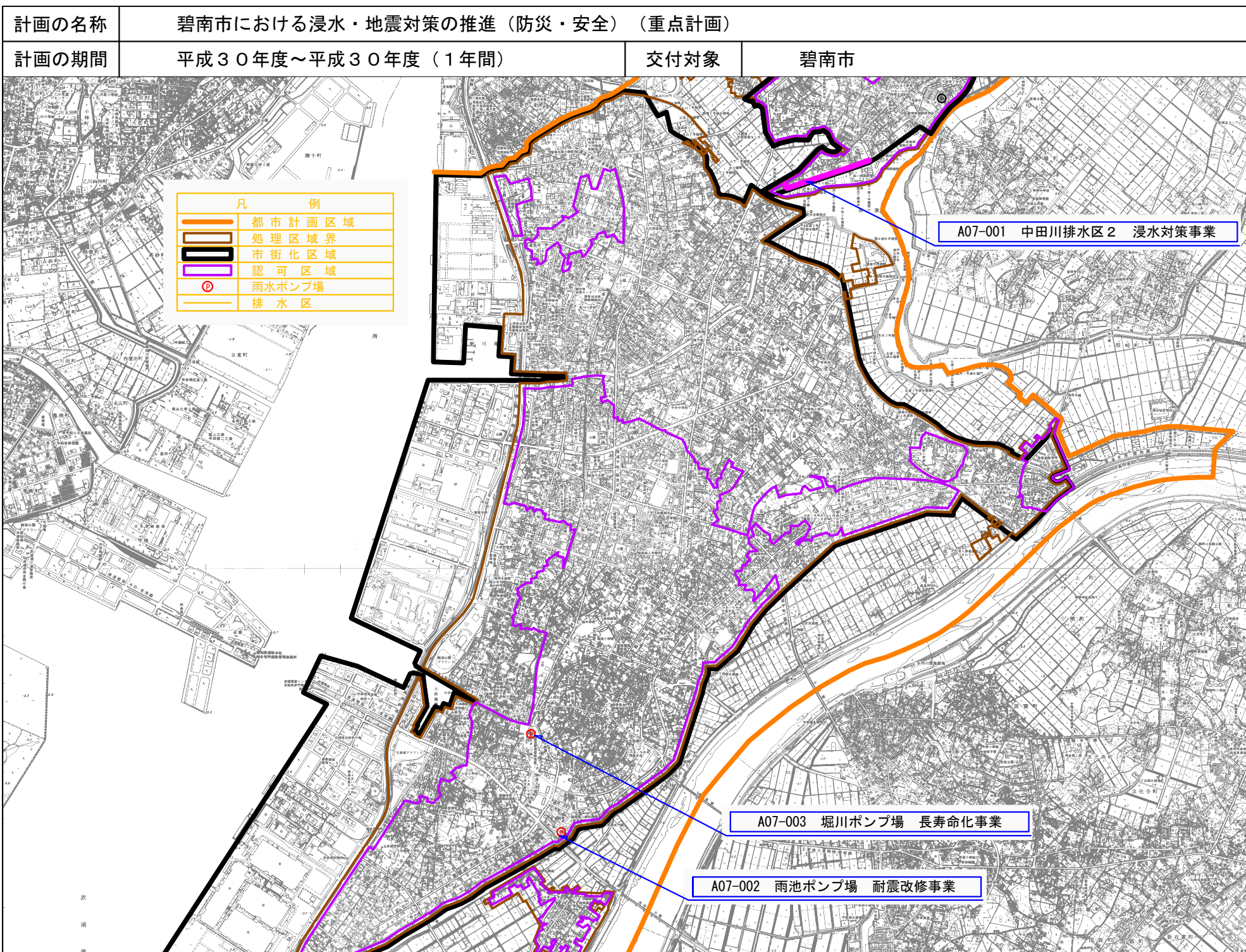
平成30年03月30日

計画の名称	碧南市における浸水・地震対策の推進（防災・安全）（重点計画）														
計画の期間	平成30年度 ～ 平成30年度（1年間）												重点配分対象の該当	○	
交付対象	碧南市														
計画の目標	下水道施設による浸水対策と主要施設の耐震化及び長寿命化を推進し、安全・安心な生活基盤を実現する。														
全体事業費（百万円）	合計（A + B + C + D）		243	A	243	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合 C / （A + B + C + D）		0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		(H30当初)	－	(H30末)
1	過去において水害が発生した地域の、浸水対策達成率を77%(H30当初)から79%(H30末)に増加させる			
	下水道による都市浸水対策達成率	77%	%	79%
	浸水対策完了済面積（ha） / 浸水対策を実施すべき面積（ha）			
2	主要な施設の地震対策率を75%から増加させていく			
	主要な施設の地震対策実施率	75%	%	75%
	主要な施設のうち、耐震化または減災対策済の施設数（箇所） / 重要な施設数（箇所）			
3	主要な施設の長寿命化対策実施率を19%(H30当初)から20%(H30末)に増加させる			
	下水道施設における長寿命化対策実施率	19%	%	20%
	長寿命化対策実施済の設備数（基） / 長寿命化対策実施対象設備数（基）			

備考等	個別施設計画を含む	○	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-
下水道長寿命化計画								

A 基幹事業																			
基幹事業（大）	番号	事業 種別	地域 種別	交付 対象	直接 間接	事業者	種別 1	種別 2	要素となる事業名 （事業箇所）	事業内容 （延長・面積等）	市区町村名 / 港湾・地区名	事業実施期間（年度）					全体事業費 （百万円）	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
		一体的に実施することにより期待される効果																	
		備考																	
下水道事業	A07-001	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	管渠（ 雨水）	新設	中田川排水区 雨水排水 路 2	管渠新設 □800×800 開削 工法 L=0.1km	碧南市	■					48		-
	A07-002	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	ポンプ 場	改築	主要な施設の耐震改修事 業	雨池ポンプ場 耐震化 土木 構造物一式	碧南市	■					30		-
		総合地震対策計画																	
	A07-003	下水道	一般	碧南市	直接	碧南市	ポンプ 場	改築	主要な施設の長寿命化改 修事業	堀川ポンプ場 改築 原動機 （エンジン）	碧南市	■					165		策定済
		下水道長寿命化計画																	
											小計						243		
											合計						243		



事前評価チェックシート

計画の名称： 碧南市における浸水・地震対策の推進（防災・安全）（重点計画）

事前評価		チェック欄
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等	１）上位計画と整合している。上位計画（知多湾等流域別下水道整備総合計画、碧南市污水適正処理構想）	○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等	２）碧南市公共下水道事業計画と適合している。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等	３）関連する他事業の計画と適合している。関連する他事業（衣浦東部流域下水道）	○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等	４）各種事業計画（下水道総合地震対策計画、下水道長寿命化計画）が策定され、適合している。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
基本方針・上位計画等との適合等	５）各種法令（都市計画法、下水道法等）を遵守している。	○
Ⅰ．目標の妥当性		
地域の課題への対応	地域の課題と整備計画の目標の整合が図られている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量式指標の整合性	１）目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量式指標の整合性	２）指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
整備計画の目標と定量式指標の整合性	３）指標・数値目標が分かりやすいものとなっている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果	１）十分な事業効果が確認されている。	○
Ⅱ．計画の効果・効率性		
事業の効果	２）他の事業との連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	１）長期的収支計画の見通しが健全と判断される。	○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	２）関係機関との協議、住民等の合意形成等を踏まえて事業実施の確実性が高い。	○
Ⅲ．計画の実現可能性		
円滑な事業執行の環境	３）その他、事業実施のための環境整備が図られている。	○